

## 次世代の移動通信システム（5G）実証試験にかかる実施協定の締結

開催日 平成29年6月12日（月）

場所 和歌山県庁3階 特別会議室



株式会社 NTT ドコモが和歌山県と本学の協力のもと、次世代の移動通信システム（5G）の実証試験を行うことに決まり、このたび、三者で協定を締結しました。

フィールドにおける5Gの総合的な実証試験を首都圏以外で行うのは、和歌山県が初めてであり、更に医療分野での実証試験を行うのも、和歌山県が初めてです。

5Gは、第5世代の移動通信システムとして2020年の実用化を目指し、総務省の主導の下、研究開発が進められています。5Gは現行のLTE方式に比べ、100倍の最高伝送速度（10Gbps）、100倍の接続機器数（100万台/km<sup>2</sup>）、1/10の遅延（1/1000秒）を目標に、「超高速」、「多数同時接続」、「超低遅延」を5Gの主要性能に掲げ、研究開発が進められています。

実証試験では、和歌山県が現在、推進しているへき地診療所等と本学を結ぶ遠隔医療支援システムのうち、日高川町国保川上診療所と本学の間の通信回線の一部に5Gを導入し、高精細な映像（4K）をリアルタイムで伝送する試験が行われます。

5Gにより、高精細な映像による皮膚疾患等の症状の正確な把握、映像・会話のタイムラグ減少による円滑なコミュニケーションの実現などを、川上診療所の医師と本学の専門医の協力により実証します。

和歌山県での実証試験は総務省から株式会社NTTドコモへの請負による取組として来年3月までの間で行われる予定です。

### 【試験イメージ図】

